

創刊の辞

神経心理学 Neuropsychology なる術語が作られたのは19世紀中葉のことらしいが、これが国際的な学術用語として定着し、学際的な関心を集めるようになったのは1960年代に入ってからのことであろう。以来すでに20数年が経過したが、その間この神経心理学領域での研究の発展はまさに瞠目に価いする。国際的な専門誌も、有名な“Neuropsychologia”(1963)や“Cortex”(1964)の創刊から現在まで、その数すでに10指に余るに至った。この方面の単行本も続々と出版されている。

さて、われわれのささやかな集いが「神経心理学懇話会」として発足したのは1978年のことであった。この懇話会が学会にまで生長するのにさして時間はかからなかった。今や日本神経心理学会の会員はすでに700名を超えており、その専攻領域も、精神医学、神経内科学、脳神経外科学、耳鼻咽喉科学さらに種々の心理学、言語病理学、言語治療、リハビリテーション医学と多様化している。

この時にあって『神経心理学』誌がわれわれの学会の機関誌として創刊されるはこびになったことは誠に喜ばしい次第である。本誌の発行のために多大の努力を惜しまなかった機関誌発行準備委員の諸先生に心から感謝したい。

本誌はさしあたり年2回の発行を予定している。年毎に、質量ともに充実しつつある我国の神経心理学領域の論文が、この新しく誕生した機関誌の紙面を満してくれることを熱望するものである。

日本神経心理学会理事長 大橋博司